

世界の繊維需要、合繊生産はともに減少―2008年

09/07/20

2009年7月20日

世界の繊維需要、合繊生産はともに減少―2008年

米国のFiber Organon誌が、2008年の世界の繊維需要と化繊生産を発表した。世界同時不況の影響もあり、繊維需要は前年比5.5%減であった。合繊生産は、中国がスローダウン、その他の主要国・地域は減少となり、1982年以来の減少となった。セルロース繊維は12.8%減の255万トンであった。

1. 2008年の世界の繊維需要

2008年の世界の繊維需要は前年比5.5%減の7,100万トンで、世界同時不況の影響が反映される形となった。天然繊維が6.8%減の2,580万トン、化繊が4.7%減の4,520万トンとともに減少した。

化繊の内訳は、合繊（オレフィン繊維を除く）が3.5%減の3,670万トン、オレフィン繊維が8.2%減の594万トンであった。2007年はレーヨンブームで10.6%増の292万トンと大きく増加したセルロース繊維だが、2008年はその反動もあり255万トン、12.8%減と大きく減少した。

天然繊維では、綿（コットン）が7.2%減の2,440万トンと減少した。昨年は史上最高記録を更新したものの、2008年は2005年（2,440万トン）の水準に戻るものとなった。干ばつ等によるオーストラリアの生産減により減少が続いていた羊毛は、前年比ほぼ横ばいの121万トンであった。近年、急速に需要が拡大している絹は5.1%減の14.8万トンで、7年ぶりの減少となった。

表1. 世界の繊維需要

(1000トン、%)

(出所) Fiber Oranon、以下同様

(注) 化繊は生産、その他は消費統計に基づく

品種	2006	2007	2008	前年比
セルロース	2,640	2,920	2,545	-12.8
合繊（オレフィン除く）	35,098	38,034	36,686	-3.5
オレフィン	6,417	6,467	5,939	-8.2
化繊計	44,155	47,420	45,170	-4.7
綿	25,769	26,331	24,442	-7.2
羊毛	1,234	1,202	1,209	0.6
絹	145	156	148	-5.1
天然繊維計	27,148	27,689	25,799	-6.8
総計	71,303	75,109	70,969	-5.5

2. 地域別合繊生産

世界の合繊（オレフィン繊維を除く）生産は3.5%減の3,670万トンであった。合繊の生産が減少したのは、1945年、1974年、1975年、1980年、1982年の5回で、今回は史上6度目の減少となった。前半は原料価格の高騰、年後半は世界同時不況による需要減の影響を受けた。

国別・地域別には、中国のみが増加し、その他の主要国・地域は軒並み減少となった。近年、増加を続けていたインドも減少した。中国を除く世界の合繊生産は1,470万トンで、前年比12.1%減。数量にして202万トンの減少となった。台湾（45万トン減）、米国（39万トン減）、西欧・トルコ（33万トン減）の減少が目立っている。

中国は前年比3.2%増の2,210万トン。1996年以来、12年連続で2桁増を続けてきたが、1986年（2.1%増）以来の低い水準の伸びとなった。しかしながら、その他の国・地域が減少したため、世界に占めるシェアは前年の56.1%から60.0%へと上昇した。

インドは7.6%減の226万トン。2年連続で2桁増であったが、減少に転じた。世界に占めるシェアは6.4%から6.2%に低下した。

表2. 世界の地域別合繊*生産

(1000トン、%)

(注) *オレフィンを除く

品種	2006	2007	2008	前年比	同増減	構成比
日本	924	901	771	-14.4	-130	2.1
中国	18,383	21,339	22,012	3.2	674	60.0
韓国	1,488	1,479	1,359	-8.1	-120	3.7
台湾	2,292	2,382	1,928	-19.0	-454	5.3
ASEAN	2,462	2,421	2,272	-6.1	-149	6.2
インド	2,133	2,447	2,262	-7.6	-186	6.2
その他アジア	567	553	497	-10.1	-56	1.4
西欧・トルコ	2,477	2,338	2,009	-14.1	-329	5.5
東欧・CIS	550	544	519	-4.7	-25	1.4
米国	2,479	2,311	1,918	-17.0	-393	5.2
その他米州	900	883	752	-14.9	-131	2.0
中東・アフリカ・オセアニア	444	436	386	-11.5	-50	1.1
世界計	35,098	38,034	36,686	-3.5	-1,348	100.0
中国以外の計	16,715	16,695	14,673	-12.1	-2,022	40.0

大規模なリストラが一段落し2007年は微減であった韓国であるが、2008年は8.1%減の136万トンであった。台湾は前年の増加の反動もあり、19.0%減の193万トンと大幅減で、200万トンの大台割れ。ASEANはベトナムが増加基調を維持したものの、インドネシア、タイ、マレーシアが落ち込んだため、全体では6.1%減の227万トンであった。ちなみにアジア（表中では日本～その他アジア）の世界に占める割合は82.9%から84.8%に拡大した。

西欧・トルコ、米国は、景気悪化にともなう域内・国内の消費の冷え込みで、それぞれ前年比14.1%、17.0%の減少となった。米国、台湾が200万トン割れとなったため、200万トン以上の合繊生産国は中国とインドのみとなった。東欧・CIS、米州（米国を除く）、中東・アフリカ・オセアニアはいずれも減少した。

3. 品種別合繊生産

合繊生産を品種別にみると、これまで合繊の成長を牽引してきたポリエステルが減少したことが特徴的である。フィラメントは前年比0.4%減の1,860万トン、ステープルが3.0%減の1,210万トンであった。フィラメントの生産が減少するのは1982年以来、ステープルは2001年以来的ことである。アクリルは素材間競争の激化もあり、前年比20.5%減の191万トンと大きく減少。4年連続の減少で、1977年（178万トン）以来の200万トン割れとなった。オレフィンFは7.2%減の490万トン、2006年以来的減少となった。ナイロンFは8.8%減の324万トン。オレフィンSは12.4%減の104万トンで、4年連続の減少となった。

ポリエステルFでは、これまで2桁増を続けていた中国が5.0%増の1,280万トンにとどまった。しかしながら、インド（4.4%減の134万トン）、台湾（17.2%減の102万トン）をはじめ、その他の国・地域が軒並み減少となったため、中国の世界に占めるシェアは65.5%から69.1%に上昇した。ポリエステルSも同様で、中国が2.7%増の722万トンとなる一方、台湾（13.9%減の74.6万トン）、米国（17.2%減の64.6万トン）などが軒並み減少、中国の世界シェアは56.5%から59.8%に拡大した。

表3. 世界の品種別合繊生産

(1000トン、%)

品種	2006	2007	2008	前年比
アクリル	2,521	2,406	1,913	-20.5
ナイロンF	3,554	3,555	3,242	-8.8
ナイロンS	367	337	269	-20.1
ポリエステルF	16,574	18,649	18,577	-0.4
ポリエステルS	11,496	12,446	12,072	-3.0
オレフィンF	5,209	5,275	4,895	-7.2
オレフィンS	1,208	1,192	1,044	-12.4
その他	586	642	612	-4.7
総計	41,515	44,501	42,625	-4.2

アクリルでは、最大生産国の中国が24.6%減の60.4万トンとなり、西欧（16.0%減）、トルコ（15.8%減）、日本（37.9%減）の主要生産国・地域が軒並み2桁減であった。ナイロンFでは、中国が7.1%増の102万トンとなった一方、米国は主力のカーペット用の不調が続き16.9%減の61.6万トン、台湾（25.9%減）、西欧（9.1%減）も減少となった。

4. セルロース繊維生産

セルロース繊維の生産は前年比12.8%減の255万トンと大きく減少した。同繊維が減少となったのは2001年以来的ことである。

国・地域別には、すべての国・地域が減少となり、主要国の中国、インド、インドネシアはいずれも12～13%の落ち込みとなった。西欧も6.3%の減少であった。

品種別には、衣料・家庭用に使用される普通レーヨンFは、全体の7割超を占める中国の減少（6.4%減）が大きく影響し、9.2%減の28.9万トン。アセテートFは12.7%減の6.4万トン。タイヤコード用等に使用される強力レーヨンは13.0%減の6.2万トン。レーヨンSは、レーヨンブームの終焉もあり、13.3%減の213万トンであった。

表4. 世界のセルロース繊維*生産

(1000トン、%)

国・地域	2007	2008	前年比	品種	2007	2008	前年比
日本	72	69	-3.4	強力レーヨン	71	62	-13.0
中国	1,360	1,203	-11.6	普通レーヨンF	318	289	-9.2
インド	345	301	-12.9	アセテートF	73	64	-12.7
インドネシア	325	282	-13.2	レーヨンS	2,458	2,131	-13.3
台湾	136	106	-22.6	計	2,920	2,545	-12.8
タイ	95	80	-15.9				
西欧	452	423	-6.3				
旧ソ連	28	9	-67.0				
米国	25	23	-9.9				
ブラジル	40	16	-59.9				
その他	41	33	-19.6				
世界計	2,920	2,545	-12.8				

5. オレフィン繊維生産

オレフィン繊維の生産は前年比8.2%減の594万トン。すべての国・地域が減少となり、西欧、米国が2桁減、中国は5.3%減であった。品種別には、紡糸繊維のフィラメント、同ステープル、スリット・フィルムファイバーのいずれも減少となった。

表5. 世界のオレフィン繊維生産

(1000トン、%)

国・地域	2007	2008	前年比	品種	2007	2008	前年比
西欧	1,590	1,418	-10.8	紡糸繊維F	2,925	2,656	-9.2
トルコ	324	298	-8.0	紡糸繊維S	1,192	1,044	-12.4
米国	1,298	1,116	-14.0	スリット・フィルム	2,350	2,239	-4.7
日本	179	176	-1.7	計	6,467	5,939	-8.2
中国	1,053	997	-5.3				
その他アジア	838	785	-6.3				
中東・アフリカ・豪州	502	496	-1.2				
その他	685	653	-4.7				
世界計	6,467	5,939	-8.2				

(担当：業務調査グループ 杉原)

海外速報No.828 / 2009年7月20日